

学校法人エリザベト音楽大学

2023(令和5)年度

2023(令和5)年4月1日から2024(令和6)年3月31日まで

事業報告書

1. 法人の概要

①建学の精神・教育理念・行動標語

【建学の精神】

大学の究極目的は、人間社会全体の形成であり、従って、個人の完成である。芸術は、人格の開発と表現のためにも、神との一致の道を切り開く人間相互の一致のための手段としても重要であることから、本大学は、人格完成を芸術、特に音楽の観点から強調するのである。

それゆえ、深く音楽芸術に関する理論及び技能を教授研究するとともに、広く知識を授け、良識ある音楽家を育成することを旨とする。

1. 本大学は、カトリシズムの精神に基づいて創立され、かつそれを指導原理としている。
2. 本大学は、カトリック・イエズス会の教育方針に従い、一般教育科目および外国語科目にも力を注いでいる。
3. 本大学は、すべての人々は兄弟・姉妹であるという精神から、家族的雰囲気をもととする学生1人1人とのきずなを教育の礎としている。
4. 本大学は、一般音楽のほかに、グレゴリアン・チャント、ポリフォニーおよび現代宗教音楽等の教授・研究において他にみない特色を有している。
5. 本大学は、国際的な友好関係のもとに維持されており、日本古来の文化と西欧文明との融合をその究極の使命としている。
6. 本大学は、音楽芸術をとおして、神秘的観想の精神に達することを究極の教育理想としている。

【教育理念】

《 教養・実力・慈愛のある音楽家の育成 》

カトリシズム（普遍性）の精神に基づき、
幅広い教養・専門教育をとおして、
自分を高め、「他者のために生きる」人材を養成する。

音楽芸術および音楽教育に関する
理論、技能および実践の教授研究により、
真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人材を養成する。

平和を愛し、
地域社会および国際社会、とりわけアジア地域に
貢献する人材を養成する。

【行動標語】

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

②学校法人の沿革

年 月 日	沿 革
1947(昭和22)年9月	広島音楽教室開設(現エリザベト音楽大学付属音楽園)
1948(昭和23)年4月	県公認広島音楽学校開設
1950(昭和25)年1月	財団法人広島音楽学校に名称組織変更
1951(昭和26)年3月	学校法人広島芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年3月	学校法人エリザベト芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年4月	エリザベト音楽短期大学(2年制)開設
1954(昭和29)年4月	宗教音楽専攻科(1年制)設置
1959(昭和34)年4月	エリザベト短期大学と改称(音楽科3年制、宗教科2年制)
1961(昭和36)年12月	ローマ教皇庁立宗教音楽院の姉妹校となる(BMS宗教音楽士の授与認可)
1963(昭和38)年4月	学校法人エリザベト音楽大学に改称、4年制のエリザベト音楽大学昇格開設、3年制短期大学と宗教科廃止
1967(昭和42)年4月	音楽学部音楽学科宗教音楽専修を宗教音楽学科として増設(音楽学科・宗教音楽学科の2学科編制)
1976(昭和51)年4月	音楽学部声楽学科、器楽学科増設(音楽学科・宗教音楽学科を加えて4学科編制)
1980(昭和55)年4月	音楽専攻科(1年制)開設
1990(平成2)年3月	音楽専攻科廃止
1990(平成2)年4月	大学院音楽研究科修士課程設置
1993(平成5)年4月	大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程設置
2001(平成13)年4月	音楽学部を改組、音楽文化学科、演奏学科開設
2003(平成15)年4月	音楽文化学科幼児音楽教育専修開設(幼稚園教諭免許課程設置)
2006(平成18)年3月	音楽学科、宗教音楽学科、声楽学科、器楽学科の4学科を廃止
2011(平成23)年3月	日本高等教育評価機構から平成22年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年12月	新3号館竣工及び既存施設(セシリアホール・1号館・本館・333教室等)改修完了
2018(平成30)年3月	日本高等教育評価機構から平成30年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年度	創立70周年記念事業コンサートシリーズ実施
2018(平成30)年8月	第26回ASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟総会・学生会議)開催
2019(令和元)年度	セシリアホール開館40周年&記念コンサートシリーズ開催
2023(令和5)年3月	本学教員をソリストに広島交響楽団と創立75周年記念演奏会Ⅰを開催
2023(令和5)年11月	創立75周年記念式典、創立75周年記念演奏会Ⅱを開催
2024(令和6)年2月	広島市民賞受賞
2024(令和6)年3月	創立75周年記念演奏会Ⅲを開催

③設置学校の学部学科等学生定員・在籍学生数

当法人の設置する大学の学部学科等、学生数の状況は次のとおりです。

エリザベト音楽大学

音楽学部 (() 内は入学定員/収容定員)

音楽文化学科	(20人/80人)	※2024年度	(15人/75人)
演奏学科	(50人/200人)	〃	(35人/185人)
合計	(70人/280人)	〃	(50人/260人)

大学院音楽研究科 (() 内は入学定員/収容定員)

修士課程		博士後期課程	
音楽学専攻	(3人/6人)	音楽専攻	(3人/9人)
宗教音楽学専攻	(2人/4人)		
声楽専攻	(3人/6人)		
器楽専攻	(12人/24人)		
合計	(20人/40人)		

2023 (令和5) 年5月1日現在の在籍学生数は、次のとおりです。

音楽学部

(単位:人)

	1年	2年	3年	4年	計
音楽文化学科	14	12	15	20	61
演奏学科	34	42	43	55	174
計	48	54	58	75	235

大学院音楽研究科

(単位:人)

	1年	2年	3年	計
修士課程	9	24		33
博士後期課程	0	1	1	2
計	9	25	1	35

④教職員

2023 (令和5) 年5月1日現在の教職員の状況は、次のとおりです。()は2022年度

学長	教授	准教授	専任講師	助教	専任教員計	兼任講師	専任職員	兼任職員
1(1)	13(13)	12(11)	4(5)	1(1)	31(31)	122(127)	19(19)	6(5)

平均年齢 専任教員: 50.8(51.5)歳 専任職員: 53.5(49.3)歳

⑤役員・評議員

役員・評議員の状況は、次のとおりです。

種別	寄附行為の規定 (選任条項)	定員	現員	氏名(敬称略)	
理事	第5条 第12条	(1)学長	1	1	川野祐二
		(2)評議員	2~3	2	中村英昭、木阪信子
		(3)学識経験者	1~2	1	福原之織
		(4)イエズス会日本 管区長の推薦者	1	1	梶山義夫
	合計	5~7	5		
監事	第5条、第13条	2~3	3	三好彰、下崎邦明、遠藤秋実	
	合計	2~3	3		

評議員	第 17 条 第 2 項 第 21 条	(1) 法人の職員	2～3	3	馬場有里子、垣内 敦、折河宏治
		(2) 学校卒業生	2～3	3	永岡敏彦、森佳代子、若狭和良
		(3) 理事互選	5～7	5	川野祐二、中村英昭、梶山義夫、木阪信子 福原之織
		(4) 学識経験者	6～7	6	三島 豊、市川太一、飯田美智子、白浜 満、 大方幸一郎、アント、 フランシスコ
合計			15～20	17	

⑥責任限定契約の状況

私立学校法に従い、2020年4月1日付けで責任限定契約を締結した。

・対象役員の氏名

非業務執行理事（中村英昭、梶山義夫、木阪信子、福原之織）

監事（三好彰、下崎邦明、遠藤秋実）

・契約内容の概要（学校法人エリザベト音楽大学寄附行為第45条）

非業務執行理事及び監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、この法人に対し賠償する責任は、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金20万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律で定める額とのいずれか高い額を責任限度額とする。

2. 事業の概要

(1) 大学経営の取組み

①建学の精神・教育理念の実現のために

2023年度は新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、教育活動は徐々にパンデミック前の状態に戻りました。4月にはゴージェンズ記念講演会（酒井陽介神父「ペドロ・アルペ神父の霊性とイエズス会教育」）を開催。8月には東南・東アジアカトリック大学連盟が主催する第29回ASEACCU（セント・ルイス大学、フィリピン・バギオ市）に学生3名と教員2名を派遣。学生・教職員が連携して、大学祭（9月）及びチャリティークリスマスコンサート（12月）他において東ティモール産フェアトレードコーヒーを販売した収益及び演奏会での募金活動と合わせて東ティモールとタイのイエズス会学校に送金しました。1月の能登半島地震後には、演奏会時に義援金募金活動を行いました。

②大学教育、学生募集への取組み

学士課程新カリキュラムについて、PDCAサイクルにより改善を図りつつ軌道に乗せることに関しては、各学科、専攻・専修において検証と改善への取組みを続けました。また、その結果、新しい授業科目の開講を決めた例もありました。

本学の優れた教育、新カリキュラムや教員の演奏研究等の魅力を発信するために、進学ガイダンスを拡充し、オープンキャンパス（6、7、8、10月）及びスプリングフェスティバルの内容に工夫を重ね、大学独自の奨学金の広報にも努めました。

③中長期計画に沿った将来計画の策定

施設・設備補修年次計画を立案し、計画的に実行しました。経年変化（劣化）についての改修には細心の注意を払い、安全面に配慮して必要な対応を行ったほか、2023年度は学生寮のLED化を行いました。2号館空調設備の更新については、最もふさわしい工事期間が創立75周年行事と重なったために、時期を2024年度に延期しました。

現長期計画（2016年度～2025年度）のもとで財務計画は必要に応じて修正を行っています。次期中期計画（5年）については、2024年度以降の策定に変更しました。

④国際交流について

2023年8月に第29回ASEACCU総会・学生会議に学生3名と教員2名が出席しました。また2024年2月には学生7名と教員2名がインドネシアを訪問し、カニシウス・カレッジ（ジャカルタ）とサナタ・ダルマ大学（ジョグジャカルタ）においてチャリティ・ジョイントコンサートを行いました。

新型コロナウイルス後、留学生を積極的に受け入れるために、対面式のみならず、オンラインによる入学試験を実施し、5名が2024年4月に入学しました。徐々にコロナ前の交流状況に近づきつつあります。

⑤内部質保証体制の確立

2023年7月に「エリザベト音楽大学内部質保証の方針」を策定しました。これは、本学の建学の精神、教育理念の実現に向けた大学運営の質の向上を目的とした「内部質保証体制」を確立させるもので、その実施機関を定め、責任の所在を明確にしました。

第3期認証評価受審（2024年）に向けて自己点検評価書を作成し、教育の質保証に関する教学マネジメント体制を構築し、学修成果の可視化などの課題に取り組みました。アセスメントポリシーを検討し（2024年4月の協議会で決定）、教務システムを活用した学修成果の可視化を実現しました。

⑥創立75周年記念事業

2023年1月から2024年3月を創立記念行事期間として様々な事業を行いました。創立75周年記念式典・演奏会（11/23）には、ベルギー大使館、広島及び東広島市長、カトリック教会関係者、カトリック大学、地元大学学長等の来賓約170名を招き、盛会のうちに終了しました。記念誌については、年度末までの事業を掲載するために、2024年度の刊行になりました。

(2) 教学について

①教学改革について

2022年度からの新カリキュラム2年目における個々の授業運営状況、教育成果の報告と検証等を、教学役職者を中心とした会議において確認するとともに、プログラム制度の運用

を注視しながら必要な修正を適宜実行しました。

十分に機能していない IR 委員会は廃止し、学内の担当部署が必要とするデータを集め、教職協働により分析し、改善策を設ける体制に変更しました。継続して実施することが求められている教職課程自己点検評価については、教養・教職主事と教職課程委員会により準備を進めました。

さらに学生の学習活動に不可欠な研究発表、演奏活動の場を、学内外において少しずつ広げました。また、地域貢献活動においても学生が携わる機会を多数設けることができました。

[音楽文化学科]

音楽文化学科では 2022 年度より、「専門性が高く充実した教育達成」を基幹目標とした新しいカリキュラムの運用が始まり、学科内の相互協力によって横断的な学修機会の提供を奨励しました。2023 年度においては、ICT 機器を利活用する教育者の育成を目指して、実践的な教育を展開しました。また、音楽文化学科の学びの魅力を学外に幅広くアピールする機会を積極的に設けました。

音楽文化専修では、新カリキュラムから開始したプログラム制を生かし、段階的で効果的な学びの構築に取り組みました。また、2024 年度の完成年度に向けて、各プログラム及び専門領域の授業内容について、精査・検討を引き続き行いました。

幼児音楽教育専修は、音楽大学の幼稚園教諭免許課程としてふさわしい音楽的な資質・能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な指導力の育成に取り組みました。具体的には保育現場で実践可能な音楽指導に加え、これからの幼児教育の方向性に沿った保育実践に注力し、学生一人ひとりに対して専修全体で丁寧な指導を行いました。また、幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供しました。

[演奏学科]

演奏学科では新カリキュラムの運用と同時に始まった実技学修システム及び履修プログラムとも学科長、学科長補佐を中心に教員協働のもと、円滑な稼働を行うことができました。

実技学修システムの一環である「実技カルテ」（学生自身によるレッスン記録、実技試験時に教員が個々の学生に対して記入するチェックシートをファイリングしたもの）は教員と学生間での情報共有と交流に役立ちました。履修プログラムについては、1 年次の 8 月に説明会、9 月に学生の意識調査を行い、履修プログラムの意識づけを図り、年度末に希望プログラムを決定しました。卒業後の進路を明確にし、2 年次から 4 年次の積極的な学びをサポートするシステムとして検証を繰り返しながら定着を図ります。

演奏学科に所属する教員は演奏技能維持、研究業績拡充及び入学志願者へのアピールのため、学内外で積極的に演奏を行いました。特に 2023 年 11 月及び 2024 年 3 月に開催された〈エリザベト音楽大学創立 75 周年記念演奏会 Vol. 2&Vol. 3〉では、6 人の教員が広島交響楽団と共演し、演奏家としての実力を発揮しました。

学生による地域貢献活動としての学外演奏においては、地域からの要望と学生に対する

教育的意義のバランスを図りながら、教員が積極的に関わり、学生への指導はもちろんのこと、学生との共演も行いました。

[大学院]

留学生入学試験に関して、修士課程ではオンラインの活用により 2024 年度春季の入学生計 5 名（中国 4 名、シンガポール 1 名）、さらに博士後期課程では、対面による入学試験により 2 名（中国）の入学者を迎えることができました。大学院公開講座は、6 月 26 日にデニス・ブリアコフ氏によるフルート公開レッスンとミニコンサートの形で実施しました。

大学院のカリキュラムについては、今後の改訂に向けた試行的取り組みの一つとして、2024 年度春季入学生から、修士課程器楽専攻鍵盤楽器分野に伴奏に重点をおいて学ぶ「伴奏領域」を設けました。

② 学生生活支援

[学生生活について]

学生の人間の成長と自立を促すため、学生にとって必要な時宜を得た内容を選び、合同オリエンテーションを実施しました。学生会主催行事の大学祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 2020 年度から開催していませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、規模は縮小したものの 3 年ぶりに開催し、クリスマスパーティについては、感染症対策に留意しながら、飲食を伴うこれまでの形で開催することができました。

学生生活センター室長を中心に学生生活委員会を定期的で開催しています。とりわけ、配慮の必要な学生、生活面での悩みや課題を抱えた学生及び障がいのある学生については、委員会での情報交換を行い、教職員間での連携を密にして指導にあたりました。さらに、学生相談室、保健室との定期的な連絡会を実施し、合理的配慮の必要な学生への支援等について情報を共有しました。

経済的支援については、日本学生支援機構の給付奨学金、高等教育の修学支援による入学金・授業料等減免の迅速な対応にあたりました。奨学金受給学生がより充実した学生生活を送れるよう、面談・個別指導を実施し、意識の向上を促しました。演奏会シーズンのインフルエンザ感染予防のために、希望する学生に対してワクチン接種を大学の補助により実施しました。教職員は連携して指導・支援を行い、休学者、退学者の減少に努めました。

[就職・進学サポートについて]

ア) 支援体制

キャリアサポート委員会を中心に、キャリア支援室、学生生活センター室長、ホームルーム担任、指導担当教員が連携して学生のニーズに沿った対応を行いました。就職に関しては、教養・教職主事並びに関係教員が計画的に実践的指導を行い、小学校、中学校、特別支援学校合格の実績をあげました。

イ) 進路面談

3・4年生全員に対して「進路希望調査票」をもとに個人面接を実施し、キャリア意識の醸成、就職、進学を意識を確認し、面談を継続することにより支援を行いました。

ウ) 進路オリエンテーション

2023年度は春季オリエンテーション時に外部講師の講話を取り入れながら学年別の「進路オリエンテーション」を実施しました。

■2023年度学年別「進路オリエンテーション」

	時間	会場	対象学年	テーマ	担当講師		キャリアサポート委員
3/27 (月)	11:30~12:00	506	2年生	将来の進路について今準備をしていくこと	マイナビ	林 朋子氏	平田、古土井、穂垣
3/28 (火)	11:30~12:00	506	3年生	自己分析と働くこと	リクルート	久家亜里紗氏	平田、小林、田中、古土井、穂垣、(久保)
3/30 (木)	12:40~13:10	506	4年生	家計管理とライフプランニング~働いて「稼ぐ」ことと将来設計について	広島銀行	神垣 訓氏 常田暢子氏	平田、小林、久保、古土井、穂垣
3/30 (木)	15:00~15:30	506	新入生	・音大生の卒業後の進路 ・家計管理とライフプランニング	広島銀行	神垣 訓氏 常田暢子氏	平田、久保、田中、古土井、穂垣

エ) 就職状況

学部卒業生 65 人の内、就職者数 38 人、本学大学院進学者数 10 人。就職希望者 48 人に対する就職者の割合は 79.1%でした。(2024年5月1日現在)

③国内及び国際交流

[国内外の交流]

2023年度は、新型コロナウイルス発生前の多くの活動を再開させることができ、国内では地域への貢献として本学留学生が多くの演奏を披露しました。具体的には7月に広島市留学生会館の「七夕コンサート」で本学留学生がプログラムを組み、演奏を行いました。また12月には、日本産業退職者協会広島支部の「留学生との交流会」、ひろしま国際センター奨学金授与式・交流会で留学生が自国の音楽を披露しました。さらに、同12月、フィリピン人留学生と日本人学生による演奏グループが中国新聞主催「ひろしまクリスマスマーケット」及びJMSアステールプラザ「市民サロンコンサート」において、クリスマスの名曲を演奏しました。

海外プログラムに関しては、8月21日から23日まで、セント・ルイス大学(フィリピン・バギオ市)において、第29回ASEACCU国際総会・学生会議が開催され、学生3名と教員2名が出席しました。テーマは“Global Goals in the Care of Our Common Home: A Catholic Response”でした。12月に聖イグナチオ学院基金(東ティモール)とザビエル・ラーニング・コミュニティ(タイ)に、クリスマスコンサートのチケット代及び演奏会場での募金を寄付しました。

[国外交流協定校との交流事業]

2024年2月21日から27日までインドネシアのカニシウス・カレッジ(ジャカルタ)とサナタ・ダルマ大学(ジョグジャカルタ)においてチャリティ・ジョイントコンサートを行

いました。学生7名と教員2名が渡航し、演奏会を行いました。

四川音楽学院、フィリピンの協定校とは、コロナ禍で交流が停止していますが、再開の予定はあります。エラスムス・ブリュッセル応用科学芸術大学、ブリュッセル王立音楽院(KCB)芸術学部(ベルギー)においては、2023年4月に学長が大学を訪問後、包括協定の更新が行われ、学生交換留学についても2024年4月の入学式時に、エラスムス・ブリュッセル応用科学芸術大学からデニス・クルイツ学長、ブリュッセル王立音楽院からヤン・ダーネ院長が出席し、協定の協議及び調印を行います。

④学生募集活動及び広報活動について

[学生募集について]

2023年度は、大学入試の早期化・年内受験者増に対応すべく、前年度末(3月末)に大学案内を作成しました。募集要項と分冊することで、早くから大学案内を拡散しました。それに伴い、例年5月後半から実施していた進学ガイダンスを、4月後半から中四国・九州18会場で開催するよう計画し、レッスン申込みの無かった2会場(宮崎、長崎)を除く16会場で実施しました。一方で、進学ガイダンスへの延べ参加者数はトータルで55人となり、前年度の71人から減少しました。

オープンキャンパスは、夏(6月、7月、8月)、秋(10月)、春(スプリングフェスティバル)をそれぞれ実施。前年同様に遠隔地からの参加者に対する交通費補助の継続、また、県外から団体での参加者にバスを仕立てるなど、高校生の来学を促しました。6月には福岡県の私立飯塚高校吹奏楽部の生徒44人(引率教員2人)、秋のオープンキャンパスには大分県高等学校文化連盟と連携し大分県内5校から生徒36人(引率教員5人)がそれぞれ参加しました。また、教育提携協定校である梅光学院高校音楽科の生徒14人(引率教員2人)を招いた特別オープンキャンパスも10月に実施しました。本学教員による出前授業・出前レッスンについては、2022年度は30件でしたが、2023年度は55件と大幅に増えました。

2023年度(2024年4月入学)の受験者状況については、出願者数50人、入学者数42人(1人2年次転学含む)となり、昨年度の実績(出願60人・入学48人)を下回る結果となりました。出願者に占める入学者の割合は84%となり、過去からも80%前後で推移していることを考えると、学部1年次の定員の50人を確保するためには、出願者数を65人以上となる必要があります。

[広報活動について]

2023年度は大学公式ホームページを一部リニューアルしました。これは、利用者の利便性を高め、訴求したい情報へのアクセシビリティ向上を目的として実施しました。公式ホームページでの情報発信と並行して、各種SNS(Facebook、Instagram、LINE@)による情報発信も、情報の鮮度、発信頻度に注意しながら継続しました。

2024年度から(株)フロムページの企画「夢ナビプログラム」に参画するために、講義動画の撮影を終えました。制作した「講義動画」は、本学ホームページにおいても二次利用が

可能であり、「講義シート」も本学のオープンキャンパス等で配布することができます。

2022年に始めた広島以外の各地で広告代行業務を依頼するエリアパートナーとは、情報提供の頻度を高め、連携を深めることを目的として、年間2回の面談を実施しました。2024年度は宮崎・鹿児島エリアの卒業生との新規契約を行います。

各地の同窓生との連携を深め、大学からの情報発信並びに受験生等情報収集に資する企画として、9月に行われた同窓会愛知・三重・岐阜支部共催「エリザベト・コンサート in 名古屋」（熱田文化小劇場）が好事例となりました。2024年度は、山口県（防府市）及び大分県（大分市）でのコンサート及び同窓生との交流を実施します。

⑤教職員研修及び教職員評価について

教職員研修（SD研修会）としては、教職員及び非常勤教職員を対象に以下の研修機会を設けました。4月のゴーセンス記念講演会では酒井陽介神父（イエズス会）による講演「『ペドロ・アルペ』神父の霊性とイエズス会教育」を実施しました。8月の認証評価研修会及び9月の教職員研修会では、自己点検・評価報告書の内容の情報共有とともに、日本高等教育評価機構の永井良政氏による認証評価のポイントに関する研修を実施するほか、財務の現状報告、研究倫理の確立と厳正な運用、文教行政情報、夏の国際交流活動報告を行い、全ての専任教職員が参加しました。さらに12月には、認証評価研修会として、学習ポートフォリオとアセスメントポリシー等新カリキュラムの課題について、研修を実施しました。

また教職員は学外の研修会（学生募集戦略、長期化するコロナ禍での学生支援、広島県大学保健管理担当者研究集会、日本カトリック教育学会研修他）にも参加しました。さらにFD活動として、前・後期ともに専任及び非常勤教員の授業を参観する期間を設け、専任教職員は参観を行い、感想・意見を提出しました。

教職員評価として、「年度目標と成果・反省」及び「次年度目標」を記載した自己申告書（面談シート）に基づき、理事長は全ての専任教職員と個人面談を行いました。教員の業績評価は、毎年9月に提出される教育研究業績書を基に学長及び役職教職員が行い、次年度の昇任審査他に活用しました。

⑥創立75周年記念事業

8月のドイツ・フライブルクでの夏期ピアノ国際セミナー（参加者：学生14人、教員5人）は創立75周年記念事業の一環として開催されました。フライブルク音楽大学のギリアード・ミシヨリ教授に指導していただき、学生教員ともに、ヨーロッパの文化に触れ充実した研修となりました。

11月23日の記念式典及び記念演奏会には、ベルギー大使館、カトリック教会、広島市長、東広島市長、日本カトリック大学連盟所属学長、地元大学学長等の来賓をお迎えして盛会のうちに終了しました。細川俊夫客員教授ほか国内外の作曲家に委嘱した宗教合唱曲集を収めた『宗教合唱曲集Vol. II』を刊行しました。2024年3月に開催した記念演奏会Vol. 3にも多くのお客様が来場され、創立記念行事を終えました。創立75周年記念誌については、2024年

3月までの行事を掲載することになり、2024年度中の完成となります。

⑦演奏活動

2023年度は、創立75周年を記念し主催演奏会はその冠を付して実施、計画していた演奏会を全て予定どおり開催することができました。新型コロナが5月に5類に移行したことから5月以降は通常の運営としました。9月に実施した名古屋での演奏会では多くの同窓生にエリザベト音楽大学の今を見ていただきました。広島交響楽団と本学教員の共演の「創立75周年記念演奏会」は、質の高い演奏会を2023年4月から2024年3月の間に2回実施することができました。

各演奏会の出演者等の詳細は次のとおりです。

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者	備考
3/18(土)	第6回ESpoir新人演奏会(くらしき作陽大学 聖徳殿ホール) 【エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学間包括交流協定事業】 (新卒者の就職などに考慮し、第6回より3月中の実施とした)	本学新卒者 4名
6/16(金)	スピリチュアルコンサート(セシリアホール)『祈りの夕べ』 ① テノール:田尻 健 チェンバロ:鹿取裕美子 賛助 女声アンサンブル 大学院生 6名 ② 合唱委嘱作品披露(作曲:三浦則子) エリザベト音楽大学合唱団(学部・大学院生 計 33名) ③ 作曲作品披露:川上 統 (アンサンブル 本学教員 10名出演)	コンサート シリーズ I
9/13(水)	エリザベト・コンサート in 名古屋 (熱田文化小劇場) (同窓会愛知・三重・岐阜支部共催コンサート) 声楽、ピアノ、管弦打楽器各専攻 教員 10名 学生 5名出演	
11/5(日)	イラーチェック・フォン・アルニン,ヤン客員教授 ピアノレクチャーコンサート (ザビエルホール)	コンサートシリーズ II
11/20(月)	エリザベト音楽大学 第82回定期演奏会 (セシリアホール) アルトソロ:吉原未来(大学院生) 指揮:下野竜也 演奏:エリザベト音楽大学交響楽団	
11/23(木祝)	創立75周年記念演奏会 Vol.2 (セシリアホール) 指揮:下野竜也 演奏:広島交響楽団 オルガン:福原之織 ソプラノ:羽山弘子 ヴァイオリン:甲斐摩耶 ピアノ:志鷹美紗	創立記念ミサ、式典 終了後実施のため、招待制とした。
12/9(土)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮:大谷研二 寺沢希 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団 ソプラノ:久保里瑛子 アルト:吉原未来 テノール:山崎雄太 バス:高村大都 (以上、メサイア ソリスト)	合唱中心 ヘンデル:メサイア ほか

日 程	演奏会名・行事名・会場・出演者	備考
2024 3/7(木)	春季大学院音楽研究科 新人演奏会	修了予定者 6名出演
3/10(日)	○音楽学部 卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 研究発表: 音楽文化専修 2名、幼児音楽教育専修 4名 ○音楽学部 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 独奏: 声楽 3名、ピアノ 3名、管弦打楽器 3名 ○卒業生全員合唱	
3/16(土)	創立75周年記念演奏会 Vol.3 (セシリアホール) 共催: 日本産業退職者協会広島支部 指揮: 飯森範親 演奏: 広島交響楽団 バリトン: 折河宏治 フルート: 万代恵子 ピアノ: 垣内 敦	
3/23(土)	第7回ESpoir新人演奏会(セシリアホール) 【エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学大学間包括交流協定事業】	本学新卒者4名 出演

*2023/9/21 秋季大学院新人演奏会は該当者無し (実施せず)

(3) 管理について

① 土地・施設設備の概要]

本学の現有土地・施設設備の状況は次のとおりです。

土地 (単位:㎡)

	校舎等	運動場	その他	寄宿舍	合計	備考
幟町学舎	4,890				4,890	うち借地 872
西条学舎	27,594	8,279			35,873	
学生寮				637	637	
合計	32,484	8,279	0	637	41,400	

建物 (単位:㎡)

			新築年月日 (登記簿記載日)	教室	演習室 (レッスン 室)	実習室 (自習室・院 生研究室含 む)	研究室	図書室	管理用	寄宿舍	その他	合計
幟 町 学 舎	旧神父館	鉄筋コンクリート 造陸屋根銅板葺4 階建	1979/7/10 (2015/2/17)	53	14	33	17	0	291			408
	1号館		1979/7/10	810	261	167	21		1,370			2,629
	本館	鉄筋コンクリート 造銅板葺5階建	1982/8/31	188	59		148		845			1,241
	2号館	鉄骨鉄筋コンク リート造陸屋根・ ステンレス銅板葺 9階建	1996/3/31	659	263	181	300	129	2,620			4,150
	3号館	鉄筋コンクリート 造陸屋根7階建	2016/8/31 (2017/3/27)	291	133	62	54	266	1,028			1,834
	4号館		1989/8/31	276	18	377	18	188	762			1,639
小	計			2,276	748	821	557	583	6,916	0	0	11,901
西 条 学 舎	1号館	鉄筋コンクリート 造ステンレス鋼 板・スレート葺2階 建	1987/7/24	729		0			670			1,399
	2号館	鉄骨造亜鉛メッキ 銅板葺平屋建	1964/12/31								243	243
	3号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24		70				55			125
	4号館	木造瓦葺平屋建	1965/4/13								68	68
	5号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24	48					24			72
小	計			777	70	0	0	0	749	0	311	1,907
学生寮(橋本町)		鉄骨鉄筋コンク リート鉄筋コンク リート造ルーフィ ング葺9階建	1985/1/30			0				2,431		2,431
総合計				3,053	818	821	557	583	7,665	2,431	311	16,239

*使用中の建物は、耐震性を満たしている。(西条学舎2号館、4号館は現在使用していない建物)

②施設設備の改修等

今年度の施設・設備補修計画に基づく大規模な改修等は、2号館の空調設備の更新及び学生寮の照明設備のLEDへの転換でしたが、2号館の空調設備の更新は、工期が創立75周年記念式典と重なるため次年度に延期しました。学生寮のLED転換は8月に実施し、LEDへの転換を残すのは2号館のみとなりました。その他、経年劣化等により生じた設備の故障や不調に対し、速やかに交換・補修等を行うことで、安全で快適な環境を保持することに努めました。さらに3月には、2号館入口及び本館と1号館の間にある駐輪場入口の2か所に顔認証システムを導入し、学生、教職員の利便性を向上させるとともに、不審者侵入等への防犯上の効果を高めました。

西条キャンパスについては、東広島市との包括連携協定のもと、キャンパスに隣接する公園において「吾妻子の滝コンサート」(10月9日)が開催され、地域住民との交流に活用することができました。その他、施設設備の改修等は実施していませんが、管理人との連携を密にし、施設の維持管理を適切に行っています。

学生寮については、経年劣化に伴う施設設備の補修が増えていますが、寮生の安全確保と快適な生活環境の保持のため、速やかな対応に努めました。

2023年度に行った主な更新・改修工事関係は次のとおりです。

月	内 容
5月	1号館高架水槽制御盤内ユニット取替工事
6月	本館2階・4階女子トイレ改修工事
8月	学生寮LED転換工事
8月	2号館空調設備無停電電源装置交換工事
1月	学生寮用水ポンプ取替工事
3月	建築設備点検指摘事項に係る改善工事
3月	顔認証システム設置工事

③付属音楽園・エクステンションセンターについて

付属事業である付属音楽園では、音楽園と大学教育の連携を深める様々な取り組みを実施しました。在園生の質の向上はもとより、レッスンの魅力及び満足度をあげる努力を行っています。引き続き音楽園の諸活動を活性化させ、募集活動の充実を図り、本大学進学を目指す在園生を増やす取り組みを推進します。

エクステンションセンターにおいては、新規の合唱・合唱指揮法講座を開講し、高校生から70代までの幅広い年齢層にご参加いただきました。年度計画に挙げた講座及びレッスン指導の実施のみならず、海外から実力のある指導者の特別レッスン等が生まれ、在学生及び卒業生等学外者に対しても充実したプログラムが実施されました。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

資産の部合計は前年度末比 493 百万円増加して、16,519 百万円となりました。また、基本金は、第1号・第2号・第3号の基本金の組入れにより 254 百万円増加して、14,307 百万円となりました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産の部合計は前年度末比 496 百万円増加して、16,091 百万円となりました。

② 収支計算書の状況

ア) 事業活動収支計算書

事業活動収入計が 1,541 百万円、事業活動支出計が 1,045 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額はプラス 496 百万円となりました。

基本金組入後の当年度収支差額はプラス 242 百万円となり、前年度繰越収支差額 1,541 百万円と加算した翌年度繰越収支差額は 1,783 百万円となりました。

イ) 資金収支計算書

当年度の設備関係支出は、教育研究用機器備品の充実などにより 34 百万円となりました。なお、施設関係支出はありませんでした。

ウ) 活動区分資金収支計算書

教育活動資金収支差額はマイナス 226 百万円、施設整備等活動資金収支差額はマイナス 381 百万円、その他活動資金収支差額はプラス 582 百万円となり、当年度支払資金は 25 百万円減少しました。これに前年度繰越支払資金 129 百万円を加算した翌年度繰越支払資金は 104 百万円となりました。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位：千円)

	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度末
固定資産	13,984,981	14,294,839	14,785,474	14,573,353	14,840,608
流動資産	880,035	1,002,545	902,740	1,452,803	1,679,035
資産の部合計	14,865,016	15,297,384	15,688,214	16,026,156	16,519,643
固定負債	285,285	394,828	361,315	339,856	318,855
流動負債	91,990	80,322	128,649	91,371	109,876
負債の部合計	377,275	475,150	489,964	431,227	428,731
基本金	13,076,178	13,389,115	13,872,816	14,053,657	14,307,356
繰越収支差額	1,411,563	1,433,119	1,325,434	1,541,272	1,783,556
純資産の部合計	14,487,741	14,822,234	15,198,250	15,594,929	16,090,912
負債及び純資産の部合計	14,865,016	15,297,384	15,688,214	16,026,156	16,519,643

②収支計算書

ア)資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	413,988	441,625	452,154	452,443	435,479
手数料収入	7,425	4,622	4,466	4,368	4,366
寄付金収入	36,852	5,409	5,311	4,153	2,145
補助金収入	62,626	107,249	103,694	105,113	105,074
資産売却収入	891,407	1,634,862	1,080,773	1,392,180	1,345,017
付随事業・収益事業収入	34,744	23,306	29,891	31,306	31,102
受取利息・配当金収入	489,909	472,659	512,777	605,754	669,062
雑収入	12,745	6,869	48,344	27,539	41,047
借入金等収入	20,000	150,000	40,000	20,000	30,000
前受金収入	81,553	55,425	58,869	46,665	47,973
その他の収入	916,270	1,342,149	719,936	1,601,547	1,299,048
資金収入調整勘定	△ 61,604	△ 82,494	△ 98,391	△ 79,107	△ 75,402
前年度繰越支払資金	161,068	171,840	116,797	108,373	129,025
収入の部合計	3,066,983	4,333,521	3,074,621	4,320,334	4,063,936

支出の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	455,350	447,955	524,241	471,887	487,691
教育研究経費支出	279,567	191,861	187,679	231,950	248,817
管理経費支出	73,280	70,254	69,083	84,330	109,635
借入金等利息支出	16	353	372	317	291
借入金等返済支出	20,000	12,497	14,996	54,996	34,996
施設関係支出	177,012	192,170	32,369	44,581	0
設備関係支出	26,448	64,351	37,074	22,862	34,136
資産運用支出	1,852,620	3,224,784	2,070,373	3,264,962	3,047,566
その他の支出	18,137	18,183	38,208	22,142	13,559
資金支出調整勘定	△ 7,287	△ 5,684	△ 8,147	△ 6,718	△ 16,262
翌年度繰越支払資金	171,840	116,797	108,373	129,025	103,507
支出の部合計	3,066,983	4,333,521	3,074,621	4,320,334	4,063,936

イ)活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	568,380	589,079	643,860	624,922	617,393
教育活動資金支出計	808,196	710,069	781,003	788,167	846,143
差引	△ 239,816	△ 120,990	△ 137,143	△ 163,245	△ 228,750
調整勘定等	59,086	△ 27,305	△ 36,802	6,487	△ 3,028
教育活動資金収支差額	△ 180,730	△ 148,295	△ 173,945	△ 156,758	△ 225,722
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	280,136	996,673	582,774	474,853	574,301
施設整備等活動資金支出計	603,562	1,352,371	1,020,709	460,716	955,588
差引	△ 323,426	△ 355,698	△ 437,935	14,137	△ 381,287
調整勘定等	△ 1,146	△ 1,146	△ 1,146	△ 1,146	△ 191
施設整備等活動資金収支差額	△ 324,572	△ 356,844	△ 439,081	12,991	△ 381,478
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 505,302	△ 505,139	△ 613,026	△ 143,767	△ 607,200
その他活動による資金収支					
その他活動資金収入計	1,998,177	2,602,147	1,769,772	3,101,662	2,750,408
その他活動資金支出計	1,481,032	2,152,501	1,166,154	2,937,094	2,167,155
差引	517,145	449,646	603,618	164,568	583,253
調整勘定等	△ 1,071	450	984	△ 149	△ 1,571
その他活動資金収支差額	516,074	450,096	604,602	164,419	581,682
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	10,772	△ 55,043	△ 8,424	20,652	△ 25,518
前年度繰越支払資金	161,068	171,840	116,797	108,373	129,025
翌年度繰越支払資金	171,840	116,797	108,373	129,025	103,507

ウ)事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
教育活動 収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	413,988	441,625	452,154	452,443	435,479
	手数料	7,425	4,622	4,466	4,368	4,366
	寄付金	36,852	5,409	5,311	4,153	2,145
	経常費等補助金	62,626	107,249	103,694	105,113	105,074
	付随事業収入	34,744	23,306	29,891	31,306	31,102
	雑収入	23,540	18,687	48,344	27,539	39,227
	教育活動収入計	579,175	600,898	643,860	624,922	617,393
	事業活動支出の部					
	人件費	455,349	447,955	506,871	465,615	481,688
	教育研究経費	413,280	346,150	341,993	392,965	414,498
	管理経費	87,996	85,124	86,491	101,691	126,400
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	956,625	879,229	935,355	960,271	1,022,586
教育活動収支差額	△ 377,450	△ 278,331	△ 291,495	△ 335,349	△ 405,193	
教育活動 外 収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	489,909	472,659	512,777	605,754	669,062
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	489,909	472,659	512,777	605,754	669,062
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	16	353	372	317	291
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	16	353	372	317	291	
教育活動外収支差額	489,893	472,306	512,405	605,437	668,771	
特別 収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	146,895	293,043	201,328	185,404	215,308
	その他の特別収入	0	1	0	0	39,704
	特別収入計	146,895	293,044	201,328	185,404	255,012
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	52,279	152,525	46,222	58,813	22,608
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	52,279	152,525	46,222	58,813	22,608	
特別収支差額	94,616	140,519	155,106	126,591	232,404	

基本金組入前当年度収支差額	207,059	334,493	376,016	396,679	495,982
基本金組入額合計	△ 397,046	△ 312,937	△ 483,701	△ 180,841	△ 253,698
当年度収支差額	△ 189,987	21,556	△ 107,685	215,838	242,284
前年度繰越収支差額	1,601,550	1,411,563	1,433,119	1,325,434	1,541,272
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	1,411,563	1,433,119	1,325,434	1,541,272	1,783,556

(参考)

事業活動収入計	1,215,979	1,366,601	1,357,964	1,416,079	1,541,467
事業活動支出計	1,008,920	1,032,107	981,948	1,019,400	1,045,485

(3) 主な財務比率比較

比率名	算式	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	17.03%	24.48%	27.69%	28.01%	32.18%
	事業活動収入計					
基本金組入後収支比率	事業活動支出	123.20%	97.95%	112.32%	82.53%	81.19%
	事業活動収入計-基本金組入額					
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	38.72%	41.14%	39.09%	36.76%	33.85%
	経常収入					
人件費比率	人件費	42.59%	41.73%	43.82%	37.83%	37.44%
	経常収入					
教育研究経費比率	教育研究経費	38.66%	32.24%	29.57%	31.93%	32.22%
	経常収入					
管理経費比率	管理経費	8.23%	7.93%	7.48%	8.26%	9.83%
	経常収入					
流動比率	流動資産	956.66%	1248.16%	701.71%	1590.00%	1528.13%
	流動負債					
負債比率	総負債	2.60%	3.21%	3.22%	2.77%	2.66%
	純資産					
純資産構成比率	純資産	97.46%	96.89%	96.88%	97.31%	97.40%
	負債+純資産					
基本金比率	基本金	99.97%	98.97%	99.12%	99.24%	99.36%
	基本金要組入額					
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額	△65.17%	△46.32%	△45.27%	△53.66%	△65.63%
	教育活動資金収入計					

(注)「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄 数量	帳簿価格 (千円)	時価 (千円)	表示科目	摘要
債券	外国債券 87口	8,744,476	9,793,014	第3号基本金引当特定資産ほか	
	外国債券 6口	532,599	583,646	有価証券	翌年度満期
	円貨債券 0口	0	0		
株式	株式 27銘柄	1,839,901	5,426,613	第3号基本金引当特定資産ほか	
投資信託	なし				
貸付信託	なし				
その他	REIT 10銘柄	1,158,131	1,302,125	減価償却引当特定資産ほか	
	外貨MMFほか	1,015,060	1,203,757	有価証券ほか	
計		13,290,167	18,309,155		

②借入金の状況

借入金の種類	借入先	金額(千円)	摘要
長期借入金	市中金融機関	77,517	返済期限：令和12年5月
短期借入金	市中金融機関	44,996	
	(うち返済期間が1年以内の長期借入金)	〃	(14,996)
計		122,513	

③学校債の状況

該当なし

④寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額(千円)	摘要
75周年記念募金	同窓会	100	
奨学資金ほか	後援会ほか	1,995	
一般寄付	篤志家	50	

⑤補助金の状況

私立大学等経常費等補助金	一般補助	82,045千円(前年度比 98%)
	特別補助	1,594千円(前年度比 90%)
	授業料等減免費交付金	19,568千円(前年度比 108%)
市町村補助金		1,868千円(前年度比 117%)

⑥収益事業の状況

該当なし

⑦関連当事者との取引状況

該当なし

以上、法人の概要、事業及び財務の概要について報告いたしました。少子化が進み、募集停止となる音楽学部がある厳しい状況の中で、本学の経営状況は一定水準を達成していますが、学生の確保は非常に厳しく、最重要な課題であることは明白です。今後も、大学教育研究の充実、経営基盤の確立に向けて、教職員は一丸となり、日々努力してまいります。皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。